

# 一般質問通告書

受領日時 令和 3年 5月 31日 午前10時10分 5番 氏名 椎名 志保

質問項目	質問の要旨
1. 秋田ホーセの閉鎖を受け、町としてできることは	<p>(1)秋田ホーセ五城目・大川工場閉鎖の一報を受け、町はどう動いたか。</p> <p>(2)潟上市は、閉鎖した縫製工場の空き工場に同業種を誘致し、希望する従業員全員の雇用を継続した。町としても県に強く働きかけるなどし、従業員の雇用が継続されるような工場の誘致ができないものか。</p> <p>(3)新たな誘致が叶わなければ、退職を余儀なくされた従業員の再就職に最大限手を尽くさなければならない。町としてどう取り組むか。</p> <p>(4)2017年に秋田ホーセ琴丘工場、2018年には合川工場が相次いで閉鎖された。こういった同社の動きや量販店の台頭などから、いずれは五城目・大川工場の経営が危ぶまれることも予想できたのではないか。ジーンズの町五城目を掲げ、広く発信し、売り込むなど、行政のできる町内企業の下支えをすべきではなかったか。</p> <p>このたびのことを通し、行政として地元企業に対し、できる支援をどのように考えるか。</p>
2. 新型コロナウイルス感染症対策など、農家への支援は	<p>(1)コロナ禍による米の需要激減で在庫が増大し、令和3年産の米価は暴落すると懸念されている。当町は米農家が多く、大打撃が予想される。国や県の動向をどうとらえているか。県からどのように伝えられているか。農家をどう支援するか。</p> <p>(2)この冬の降雪、暴風雪により、パイプハウスに被害が出るなど、当町の農家も痛手を受けた。県は補償の意思を示していたが、そのことは現在どのようになっているか。</p>
3. コロナ禍、アフターコロナを見据えた観光・商工振興を	<p>(1)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度始めから町のイベントは昨年度に引き続き、行えずにいる。コロナ禍において町の商工・観光振興としてできることは何と考えるか。</p> <p>(2)整備された森山、トレッキングに適した野鳥の森、道の駅の自然観察園、ネコバリ岩や馬場目川の溪流などを結び付け、新たな観光プランを打ち出すことはできないか。</p> <p>また町内に増えている工房やカフェ、雑貨店などを巡る観</p>

	<p>光プラン・観光マップを作成し、誘客につなげたり、旅行業者に提案するなど、アフターコロナを見据えた取り組みができないか。</p> <p>(3) このところあまり賑わいのみられない道の駅の現状をどのようにとらえているか。町としてできることは何か。</p>
<p>4. 地域図書室「わーくる」利用の工夫と、今後どういう図書室を目指していくのか</p>	<p>(1) 開室より2ヶ月が経過した。これまでの利用状況をどのようにとらえているか。</p> <p>(2) 町民から蔵書の少なさを指摘する声が聞かれている。3月定例会でも図書の実を強く指摘した。年度内に予定されていることはあるか。</p> <p>(3) 利用を促すためには工夫や仕掛け作りが必要だ。町民から読書通帳の導入や介護予防手帳のはつらつポイントと連動させる提案があった。取り入れてはどうか。</p> <p>(4) 「わーくる」の情報は、パソコンやスマホから蔵書を検索したり、新着図書や開館日を確認するにとどまっている。またスマホからその画面にたどり着くことは困難である。より「わーくる」の情報を盛り込み、町のホームページのトップ画面に置くことはできないか。</p> <p>(5) 月に1度設けられている運営についての話し合いに学校教育課・小学校からも参加していただき、課を越えた取り組みができないか。</p>